

**春の森林浴ウォーキング
市立森林植物園～山田道を歩く**

一般市民を対象とした「春の森林浴ウォーキング」、今回は梅雨空の隙間となった6月11日(土)新緑まばゆい神戸市立森林植物園内の散策コースから、午後は神鉄谷上駅へ下る森林浴コースを歩きました。森林植物園のコースは、一般の来園者としてはあまり歩かれることのない「思い出の森周回コース(山道コース)」を、植物園主査 福本さんの楽しく興味深い説明を聞きながら回り、昼食後にはこれまた運よく出会わせた“あじさい園クラリネットコンサート”を観賞することができました。午後は園内のよく整備された広い散策道を、絶え間ない小鳥のさえずりを聞きながら回遊し、植物園を出た後は山田道の森林浴コースを下り神鉄谷上駅で解散しました。



案内して下さった福本さんの説明は、わかりやすくおもしろかった。運よく出会わせた“あじさい園クラリネットコンサート”を観賞 ありがとうございました。

(文責) 森の仲間 (生11) 菅田忠志



森林浴を楽しんだ参加者一同

(後日一般参加された方から下記のような感想文が寄せられました。)

4月の末、『森の仲間からのお知らせです』との案内が入った。緑が好きで神戸市のトリコロールカードを持っている私には、とても嬉しいお知らせでした。早速参加の手続きをとると、後日参加要綱の葉書が配送されてきて、しっかりしたNPO 団体だなあと安心して今日の日を迎えました。

梅雨の間の晴れた日の森林植物園は、紫陽花にはまだ少し早すぎましたが、ほのかな香りのコアジサイ、とても素敵なお色のカルミア、また植物園主査 福本さんの面白おかしい説明は、ガーデニングクラブに所属している私には興味深い話ばかりでした。そして、何度も来ていたコースにも関わらず、いつもとは違った落葉の降り積もる、足にとっても優しく心地よい小道など、今まで私の知らなかった顔を沢山見せてくれました。

昼食の時には、一人参加の私に会員の方々からの温かい声掛けや、あちらこちらから様々なおやつ(なんともちぎょうまで!!)をいただく等、楽しいランチタイムを過ごさせていただきました。

昼食が終わり、午後からの稲本 渡氏によるクラリネット屋外コンサートは、春蝉と小鳥のさえずりのコラボレーションが山間に響き、アメージンググレイスには胸熱くなり、なにかこみ上げてくるのさえありました。

今思えば、2月の神戸クリスタルタワーで受講したセミナー『歩いて知った森林浴効果』をきっかけにして、こんな素敵な時間を持てたことや、スタッフの方々のご尽力に対して本当に感謝したいと思います。ありがとうございました。(灘区 池尾 多津子)

「しあわせの村」で3回目の市民探鳥会を開催しました

5月18日(日)「しあわせの村」主催の3回目の探鳥会に、95名の市民が野鳥観察を楽しまれました。芝生広場から白川へ通じる自然歩道へ向けてスタート。鎮守の森を経由し、蛇美池を下に見ながら6箱の巣箱が設置してある場所のあたりまで来ると、ウグイス、シジュウカラ、ヤマガラ、ヒヨドリ他、晴れた春の空にきれいな声が、我々の耳から心の奥まで響く心地よいひとときでした。声はすれども小鳥の姿を見られるチャンスはそう多くないのですが、今回のトピックスは、珍しい「オオルリ」の姿が間近で見られ、その美しいさえずりが長時間聞かれ、参加された方にも喜んでもらえたことです。この鳥は夏鳥として南の国から繁殖のために村へ渡って来たもので、姿がコバルトブルーで美しいだけでなく、鳴き声もウグイス、コマドリと並んで日本3銘鳥の一つと言われています。また参加した子供達の中には、相当野鳥を勉強していて目を輝かせて観察していたのも印象的でした。観察した野鳥の“鳥合わせ”で、16種の小鳥の名前が確認されました。



スタート前の双眼鏡の正しい使い方指導

巣立った巣箱に残る巣は、再び使われないため回収していましたが、この芸術品とも言える小鳥の巣は、希望者に持ち帰ってもらいました。

今後参加者が野鳥を通して少しでも自然環境保護に関心をもってもらえれば、私達サポートする側も元気を頂くこととなります。



空き家になった巣は来年は使わない
写真はシジュウカラの巣

(文責) グループ“わ”「野鳥と自然観察会」世話人代表 (生11) 茅中英一